

エニワンサポート通信



ご挨拶

いつもお世話になっております。

AnyONE サポートセンターより AnyONE に関する情報をお届けします。

AnyONE の使用方法には厳密なルールがあるわけではありません。

会社内で取り決めを作っていたら、社内統一フォーマットで情報を管理できます。

今回は AnyONE の見積機能で、「こんな使い方もできますよ!」と使用例のひとつを紹介します。

Q. 新築の見積書で住宅設備の違いによって複数の見積を作る必要があります。住宅設備の違いだけなのですが、プランが増えると見積の件数も増えて管理するのが大変です。

工事名	施主名	事業	見積作成日	見積番号	見積名	税抜
〇〇様邸新築工事	〇〇 〇〇		2016/02/25	20160225-1411	〇〇様邸新築工事 住宅設備Aプラン	
〇〇様邸新築工事	〇〇 〇〇		2016/02/25	20160225-1416	〇〇様邸新築工事 住宅設備Bプラン	
〇〇様邸新築工事	〇〇 〇〇		2016/02/25	20160225-1630	〇〇様邸新築工事 住宅設備Cプラン	



A. 見積の明細を階層化することで、ひとつの見積に複数のプランの明細を入力することが可能になります。

明細内には複数のプランの明細が入っていますが項目の前にある「出」のチェックを外すことで、各項目の下層にある明細が無効になります。

合計金額にも反映されなくなり、印刷時も出力されません。

「出」のチェックを外した住宅設備工事 B~E の金額は合計金額には反映されていません。

	税込見積額	原価額	粗利益	粗利率
総合計	10,103,119	7,326,432	2,776,687	27.4%
表示合計	10,103,119	7,326,432	2,776,687	27.4%

「出」のチェックを外した明細は合計金額に加算されず、見積の印刷時にも出力されません。

複数の住宅設備プランを入力後「出」のチェックを切り替えて、各プランの見積をご検討、ご提出してください。

エニワンサポート通信はエニワンサポートホームページからもダウンロードできます。
<http://www.anyone-support.com/>